

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検、評価報告書

令和2年度事業の評価結果

令和3年12月23日

安芸太田町教育委員会

目 次

はじめに	1 頁
------	-----

学校教育課

1 学校の概要及び教育施策（評価無し）	3 頁
2 教育委員会費	
（1）教育委員会運営事業（評価無し）	5 頁
3 事務局費	
（1）教育委員会事務局運営事業	6 頁
（2）先端技術導入実証研究事業	9 頁
（3）奨学金貸付基金運営事業	10 頁
（4）連携教育推進事業	11 頁
4 学校管理費（小・中学校）・幼稚園管理費	
（1）小・中学校管理事業・幼稚園管理事業	13 頁
5 教育振興費（小・中学校）	
（1）小学校教育振興事業・中学校教育振興事業	15 頁
（2）小学校就学援助事業・中学校就学支援事業	17 頁
（3）「山・海・島」体験活動推進事業（評価無し）	18 頁
（4）幼稚園管理事業	18 頁
6 保健体育費	
（1）加計共同調理場運営事業・筒賀共同調理場運営事業	20 頁

生涯学習課

1 社会教育費	
（1）社会教育総務管理事業	22 頁
（2）社会教育施設管理事業（評価無し）	23 頁
（3）文化財保護管理事業	23 頁
（4）生涯学習推進事業	24 頁
（5）図書館運営事業	30 頁
（6）放課後子ども教室推進事業	32 頁
2 保健体育総務費	
（1）保健体育総務管理事業	33 頁
（2）体育施設管理事業（評価無し）	34 頁
（3）社会体育振興事業	36 頁

はじめに

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととされています。

安芸太田町教育委員会では、事務・事業の点検を行い、教育行政サービスの質の向上と効率化の実現、コスト削減を進めるために、評価し、仕事の再点検・再確認を行うとともに、厳しい財政状況における効果的な町民サービスを実現させ、効率的な教育行政の推進に資するよう努めます。

2 安芸太田町教育委員会点検・評価の方法

評価は各事業等について、行政内部による評価を行います。

その後、社会教育委員会議（外部委員）に諮り、議会への提出、ホームページで公表します。

また、公表により町民の皆さんからいただく意見、要望も参考にし、今後の事業計画に反映していきます。以上の工程を毎年繰り返すことで、事業の改善を進めよりよい教育行政の運営に努めます。

3 実施の方法

◎ 評価について

(1) 評価の対象とする事業

事業評価をする項目は、安芸太田町主要施策の成果に関する調書をベースに評価します。

ただし、予算のほとんどが事務費や管理費である場合は、評価しません。評価する年度で終了・廃止となる事業についても、すべて評価対象となります。

(2) 事業評価における評価者（記入者）

事業評価は事業予算担当者が評価者となります。

(3) 事業の評価

ア 必要性

現在の町民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

イ 有効性

施策や運営方針、町で策定した長期総合計画の目的の実現にどの程度寄与しているかを評価します。

ウ 経済・効率性

事業のコストがかかりすぎていないか、最小の経費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。

また、事務状況の評価し、併せて目標の設定水準が適切かどうかを検討します。

エ 評価

事業の各評価項目を勘案し、外部評価委員の評価と意見の聞き取りを行います。

～ 評価のランク ～

A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

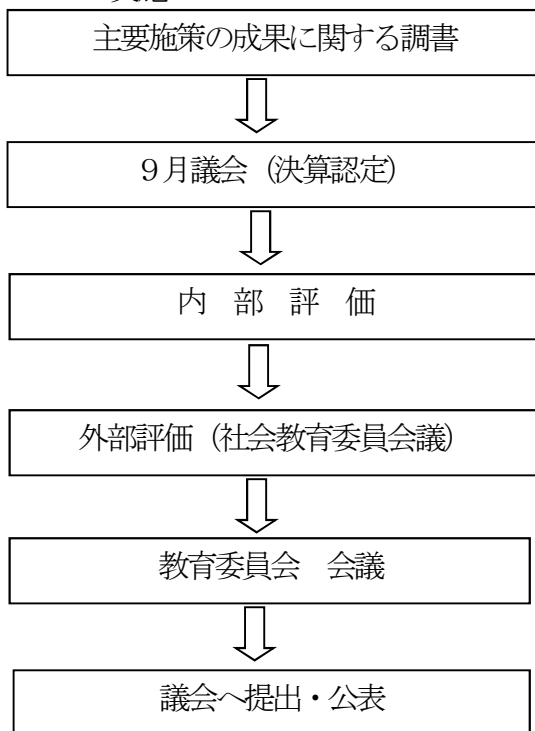
(4) 事業の方向性

上記の評価結果を踏まえて、今後どのように事業を進めるかを選択します。

(5) 評価結果の公表

公表に際しては、議会へ提出し町ホームページに掲載します。

～ 実施フロー ～



■ 学校教育課

1. 学校の概要及び教育施策

小学校は、児童数211名で前年度と比べて8名増で、学級数は1増（特別支援学級1増）であった。

中学校は、生徒数94名で前年度と比べて6名減で、学級数は1増（特別支援学級1増）であった。

広島県教育委員会の掲げる「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランによる「幼保小連携教育の推進」の委託事業を活用して令和元年度から取組を進めている。園・所等の教員・保育士等と小学校教員が協働して「安芸太田町のめざす子ども像」に向けて作成した接続カリキュラムに基づき日々の活動を実施するとともに、幼保小合同研修や合同活動に取り組んだ。

本町が日本技術士会中国本部と提携して主催する「安芸太田町科学アカデミー（次世代科学者育成プログラム）」は8年目となり、昨年と同様に呉工業高等専門学校の先生や生徒の協力による「プログラミング教室」を行った。8月に実施予定であった「科学工作」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。9月と10月に開催したプログラミング教室では、小学生と中学生が協力し合いプログラミングした車型ロボットを使い、ペットボトルを倒す本数を競い合い、大変盛り上がった。開催後のアンケートでは、プログラミング教室が楽しかったと回答した割合は、2回平均で91.5%であった。

小学校6年と中学校3年を対象とした「全国学力・学習状況調査」は中止となったが、各校では公表された調査問題を活用して学力の実態を分析し、個に応じた指導となるよう学力向上に取り組んだ。また、これからの社会に必要な対話による学ぶ力を育てるため、文部科学省「新時代の学びにおける先端技術導入実証事業」を受託し、これまで継続してきた協調学習に先端技術を導入することで、更に充実した取り組みとなるよう尽力し、全国から注目を集めた。

外国語活動については、JETプログラムにより招聘した外国語指導助手（ALT）2名と、外国語教育推進員を加えた3名配置を活かし町内の就学前施設や小学校、中学校へ定期的に訪問し、各校種での外国語教育の充実を図っている。（令和2年9月以降、コロナ禍によりALT1名の来日が叶わず、2名体制となっている。）

学校教育環境整備では、国が進めるGIGAスクール構想の実現に向けて「校内LAN及び1人1台端末」整備に取り組み、令和3年3月までに、全ての児童生徒に一人一台のタブレットを整備するとともに、その活用に向け、教職員で操作方法の研修を実施した。

新型コロナウイルス感染症による集団感染が国内で発生し、その感染拡大防止のため長期に渡り休校することとなった（令和2年4月15日～5月31日）。休校期間においても、学校では、子どもたちの学びの保障と心のケアについて配慮するため、限定HPによるビデオメッセージの配信や、アンケート機能を活用した健康観察、電話での声掛けなどを実施した。学校再開後は、夏季休業の短縮やT校区三校合同授業により授業時数を確保するとともに、感染対策を講じ活動方法を工夫しながら、できるだけ行事や学習活動、部活動を実施するよう努めた。

(1) 学校別児童・生徒数及び教職員数（令和2年5月1日現在）

小学校

(単位：人)

	加計	筒賀	上殿	戸河内	合計
学級数	8(2)	5(1)	4(1)	4	21(4)
1年生	20	11	3	6	40
2年生	19(1)	10(1)	2	5	36
3年生	16	7	4	6	33
4年生	18(1)	7	3	8	36
5年生	14	6	9(1)	5	34
6年生	20	5	4	3	32
計	107	46	25	33	211
学校長	1	1	1	1	4
教頭	1	1	1	1	4
教諭	12	5	3	4	24
養護教諭	1	1	1	1	4
事務職員	1	1	1	1	4
栄養教諭	0	1	0	0	1
計	16	10	7	8	41

※学級数の（ ）は、うち特別支援学級数。

※教職員数 教諭は、本務者の数。

中学校

(単位：人)

区分	加計	安芸太田	合計
学級数	5(2)	5(2)	10(4)
1年生	16(1)	14(1)	30
2年生	17(1)	15	32
3年生	22(1)	10(1)	32
計	55	39	94
学校長	1	1	2
教頭	1	1	2
教諭	10	10	20
養護教諭	1	1	2
事務職員	1	1	2
計	14	14	28

※学級数の（ ）は、特別支援学級数。

2. 教育委員会費

(1) 教育委員会運営事業

①安芸太田町教育委員等

教育長：二見吉康

教育委員：清胤祐子・川野法順・池野博文・河本千絵

②教育委員会議の開催状況

13回

日 時	主な協議事項	出席委員
4月21日	安芸太田町図書館運営協議会委員の委嘱について 安芸太田町教育委員の同意について 令和2年度安芸太田町議会第4回臨時会に提案する議案に対する意見の聴取について 教育委員会（学校教育課・生涯学習課）事務分掌について 新型コロナウイルス感染症対策に係る当面の対応について 学校ICTの加速について	4
5月22日	新型コロナウイルス感染症対策に係る対応状況及び今後の見通しについて 教職員の懲戒処分について 令和2年度新しい学びプロジェクトについて	4
6月15日	令和2年度安芸太田町議会第6回定例会に提案する議案に対する意見の聴取について 町内学校再開後の状況について	4
7月15日	令和2年度安芸太田町議会第7回臨時会に提案する議案に対する意見の聴取について 教科書採択請願書について 町内小中学校における諸問題の状況について	4
8月5日	安芸太田町社会教育委員の委嘱について 安芸太田町成人式について 新時代における先端技術導入実証研究事業について	4
8月26日	著作教科書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書の採択について 教職員の懲戒処分について 学校における携帯電話等の取扱い等に対する指導について	5
9月25日	安芸太田町スポーツ推進委員の委嘱について 令和2年度安芸太田町議会第8回臨時会に提案する議案に対する意見の聴取について 地教連総会について	5
10月14日	安芸太田町社会教育委員の委嘱について 安芸太田町公民館運営審議会委員の委嘱について 安芸太田町図書館協議会委員の任命について 安芸太田町文化財保護審議会委員の任命について	5
11月16日	教職員の懲戒処分について	5

日 時	主な協議事項	出席委員
	幼保小連携教育について	
12月16日	安芸太田町立学校職員服務規程の一部改正について 令和年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検、評価報告書について 広島県公立学校教職員人事異動方針について	3
1月26日	次世代育成支援対策推進法に基づく安芸太田町特定事業主行動計画について 安芸太田町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画について 学校における働き方改革取組方針に基づく各指標の状況について	3
2月24日	著作教科書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書の採択について 安芸太田町課設置条例の一部改正について 安芸太田町子どもの読書活動推進計画（第3次計画）について 服務規律の厳正確保について	5
3月16日	安芸太田町教育委員会事務局組織規則の一部改正について 県費負担教職員の任免その他の進退の内申について 幼稚園閉園に伴う規則等の改正について	4

③学校訪問・研究公開訪問

令和2年11月16日 上殿小学校、加計小学校、加計中学校

令和2年11月18日 戸河内幼稚園、戸河内小学校、筒賀小学校、安芸太田中学校

3. 事務局費

(1) 教育委員会事務局運営事業

- ・ALT（外国語指導助手）活用事業

① 事業の目的・内容

ALTはJETプログラムによる2名と、外国語教育推進員の3名体制で全小中学校へ毎週（小学校週2回、中学校週2回）訪問し、児童・生徒の英語による実践的コミュニケーション能力の育成と国際理解を深めた。

また、幼稚園や町内各こども園や保育所へ訪問し、就学前教育の充実を図った。

② 事業の成果と課題

新型コロナウイルス感染症の蔓延により9月来日予定であった新しいALTの来日ができず、半年間ALT1名、外国語教育推進員1名で学校訪問を行い、幼稚園や保育園所は国際交流員（CIR）の協力を得て訪問を行った。

4月から5月の休校時には各家庭から閲覧できるように英語でのクイズやインタビュー動画を作成し、各校のホームページに掲載するなど可能な限りの活動を行った。

学校再開後は各学校と連携し、お互いに授業におけるALTの役割を理解し、担任教諭とのチームでの授業作りに努めることができた。

小学校においては外国語教育推進担当教諭とALTのミーティングを行い、新学習指導要領による英語の教科化についても問題なく対応した。

授業の中で引き続きALTの自国の文化を紹介する時間や、本の読み聞かせの時間をとり、

ネイティブな英語に触れる時間を持たせることができている。

中学校においては英語科の授業のほか、休憩時間や他の活動時にも声をかけ、生徒の意欲や力を伸ばすことができた。また、工夫した教材づくりに熱心に取組み、生徒の興味を引くことができている。

今年度は英語暗唱大会がコロナのため中止となったが、英語検定時にはインタビューなど積極的に協力し英語検定取得率の向上に寄与した。

③ 歳出決算額（ALT報酬・費用弁償・負担金） 7,000,492円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
外部評価	A	評価委員意見	言語能力のみでなく、外国の文化等についても紹介してもらい、児童（生徒）の外国についての興味・関心が高まっている。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

・学校ICT整備事業

【小中学校校内LAN整備】

① 事業の目的・内容

GIGAスクール構想実現のための「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備補助金」を活用し、校内LAN整備を行った。

1人1台端末を利用可能な環境にするため、既存の無線LAN環境のリプレース、無線LAN環境の追加設置、充電保管庫の設置を行った。

② 事業の成果と課題

国の目指すGIGAスクール構想による1人1台端末の活用をはじめ、大型テレビを使用した授業やWeb会議システムによる外部との交流などで安定稼働に支障が生じてきていた学校の通信環境の整備を図ることにより、新たな学びに向けた学校現場における通信環境の整備をすることができた。

③ 金額 委託料 12,969,000円

情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金 6,484,000円 国庫補助

【小中学校情報機器整備（GIGAスクール）端末整備】

① 事業の目的・内容

新型コロナウイルス感染症の蔓延によりGIGAスクール構想が加速し、1人1台端末の整備を行った。平成30年度秋に導入した児童生徒用タブレットに今回端末を245台追加購入し、全ての児童生徒が自席で端末を活用し、学習できる環境を整えることができた。

② 事業の成果と課題

1人1台端末が整備され、今後は学校での利活用、また、端末の持ち帰りや状況によってはオンライン授業の準備を進める必要がある。端末の持ち帰りに関しては、通信環境が整備されていない家庭もあることから、通信環境の更なる整備や家庭への支援をどのように行っていくか検討が必要である。

- ③ 金額 備品購入費 25,300,000円
 公立学校情報機器整備費補助金 9,130,000円 国庫補助
 新型コロナウイルス臨時交付金 16,170,000円

【コロナ感染症対策事業】

① 事業の目的・内容

受験生である中学校3年生の休校による授業の遅れや、家庭学習の支援のため端末持ち帰りのための環境整備を行った。携帯端末をデザリングし、これにかかる通信費を負担した。

② 事業の成果と課題

中学校3年生において端末を持ち帰り、家庭学習に活用することができた。学校において有効な持ち帰り学習の方法や活用方法を研究していく必要がある。また、家庭での利用方法についてのルール作成等が必要である。

③ 金額

- 委託料 スマートフォン初期設定及びMDM設定業務委託料 70,400円
 授業支援システム導入 770,440円
 備品購入費 スマートフォン購入代（32台＋2台） 346,368円
 通信費 回線利用料（7月～3月分） 1,429,984円

【その他教育系管理費用】

区分	金額	備考
回線使用料	419,496円	インターネット、プロバイダーほか
システム保守	3,717,560円	サーバー・ネットワーク保守 ウェブ会議システムほか
機器賃借料	1,773,158円	サーバー

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）				

	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	学習環境がかなり整えられた。児童（生徒）は一人1台端末に慣れてきている。今後は、保護者の理解を一層高める必要がある。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(2) 先端技術導入実証研究事業

① 事業の目的・内容

先端技術の活用によって、対話を可視化、学校内外の教員の効率的な協働を可能にすることで質と効率を両立、授業研究の実現を支援するシステムを構築し、導入活用する。

取組A：対話の可視化

取組B：時間・距離の制約を取り払った授業

取組C：授業研究ビッグデータ活用

② 事業の成果と課題

○学校の1人1台端末整備が進む中、個人データをクラウド上でいかにセキュアに管理するかというノウハウを得ることができた。

○教職員に対する先端技術導入の研修が進んだ。

○先端技術の活用により、学校の授業研究の量・質が向上し、特に若手教員の授業力の向上が見られた。

○一人一台端末整備で役割を終えたパソコンルームを、対話による遠隔授業研究を配信する「アクティブ・ラーニングルーム（スタジオ）」として整備する取組みが始まった。

●「働き方改革」と両立するため、オンデマンド授業研究を実現する仕組みを整える必要がある。

●GIGAスクール校内LAN整備後の学校においても通信不具合が生じており、解決策の見通しが立っていない。

●卒業生の学習に関する意識を調査し、今後の取組に生かせると良い。

③ 金額

事業費総額 15,054,713円 先端技術導入実証研究事業 委託金

区分	金額	備考
報奨金	614,390円	講師謝金、旅費
消耗品費	626,051円	ICレコーダー、USBハブほか
通信運搬費	64,272円	増強分通信回線料
委託料	13,130,000円	システム開発費ほか
使用料	420,400円	IBM Cloud Platform、Web会議システム利用料

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
外部評価	B	評価委員意見	授業研究のビッグデータ活用などにより教員の授業力が向上したことは、大変効果のある事業であったということだ。子供の理解度に応じた個別学習ができることも素晴らしいが、学級集団としての学びとの両立も大切にしていたきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(3) 奨学金貸付基金運営事業

① 事業の目的・内容

高等学校、専門学校及び大学に進学を希望するが、経済的な理由から修学が困難な者に対して奨学金を貸し付ける。

令和2年度の新規貸付者は2度にわたり新規貸し付けの受付を行ったが、0人であった。

奨学基金会計の状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

収支の状況

収入の部		支出の部	
費目	金額 [円]	費目	金額 [円]
返還金	6,306,400	貸付金	6,948,000
前年度繰越金	40,703,606	次年度へ繰越	40,192,105
寄附金	100,000		
利子	30,099		
計	47,140,105	計	47,140,105

貸付状況

区分	貸付者数[人]			貸付額 [円]
	大・専	高	計	
元年度新規貸付	0	0	0	0
在学貸付中の者	8	1	9	6,948,000
計	8	1	9	6,948,000

奨学基金総額

区 分	金 額 [円]
貸 付 金	52,917,100
現 金	40,192,105
計	93,109,205

② 事業の成果と課題

進学希望者を経済的に支援することができたが、今年度は貸付希望者がいなかった。現在は収支バランスが保たれているが、今後希望者が急増すれば、基金の不足が予測される。

現在返還方法が納付書の窓口払いのみであるため、返還事務のシステム導入及び、返還方法について検討する必要がある。

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備 考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
外部評価	B	評価委員意見	積極的な活用ができるよう安定的な事業継続を期待している。	
事業の方 向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(4) 連携教育推進事業

【連携教育推進事業】

① 事業の目的・内容

小学校又は中学校間及び中学校区ごとの小中連携や小中連携といった児童・生徒・教職員を含めた学校間の交流、教育振興を目的とする。

② 事業の成果と課題

本町で進める連携教育の目的達成のためにキャンプ、社会見学、合宿といった合同教育への講師謝礼や児童生徒の移動等に予算を充て、より効率的な推進を図ったが新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、多くの行事を中止せざるを得なかった。

そういった状況の中、日本技術士会の協力を得て、町内小中学生に向けた科学アカデミー教室を2回開催し、科学的なものづくりや、プログラミングについて学ぶ機会を設けることができた。

◆評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
外部評価	B	評価委員意見	ほとんどの連携教育事業が中止になった中、科学アカデミー教室が開催されたことは、児童生徒にとって得難い機会であったと考える。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

【「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携教育の推進事業】

① 事業の目的・内容

本事業は、広島県が「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに掲げた「幼保小連事業の成果と課題連携教育の推進」が行われるよう、市町の幼稚園・保育所・認定こども園の教員・保育士等と小学校教員等が協働して接続の取組を推進する県の委託事業である。昨年度から2年間当町が指定を受けて取組を推進することにより、幼保小連携教育の充実を図る。

② 事業の成果と課題

2年目となる今年度は、昨年作成した接続カリキュラム (来年度入学する児童が小学校での学びを円滑に始められるよう就学前教育で行うアプローチカリキュラムと小学校で行うスタートカリキュラム) の実施に取り組んだ。幼保小の担当者が「安芸太田の目指す子ども像」を意識し、1年を通して授業参観や協議会、専門家を招いて研修を行い、相互の関係を築くとともに就学前教育と学校教育による子どもの姿や関わりの理解を深めることができた。

連携教育推進事業歳出決算額

事業名	決算額 [円]	備考
連携教育推進事業	240,658	
「育ちと学びをつなぐ」 幼保小連携教育の推進事業	300,000	県委託金 300,000円
計	540,658	

◆評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)				

	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	作成された接続カリキュラムにより、主は就学前教育と学校教育による子どもの姿や関わりの理解が深められた。よりスムーズな接続となる取組が行われることを期待する。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

4. 学校管理費(小・中学校)・幼稚園管理費

(1) 小・中学校管理事業・幼稚園管理事業

- スクールバス運行（使用料及び賃借料）

遠距離通学に係る小学校便を6路線、中学校便は5路線で運行し、児童生徒の安全な登下校を確保した。

小学校費

学校名	運行地域	金額[円]	備考
加計小・加計中	修道・安野	8,750,115	小・中学生が一緒に登校
	坪野・津浪	6,586,998	
	殿賀	5,900,928	
	猪山	833,520	
戸河内小	小板・松原	825,135	
	寺領	340,240	
合計		23,236,936	

(統合に伴う通学経費の補助金：国庫補助5,630,000円・県費補助1,126,000円)

中学校費

学校名	運行地域	金額[円]	備考
加計中	修道・安野	1,098,075	中学校のみ利用及び週末部活便
	坪野・津浪	1,020,030	
	殿賀	894,190	
安芸太田中	寺領・土居・上殿	7,333,689	
	小板・松原・遊谷・上本郷	8,742,077	
合計		19,088,061	

(統合に伴う通学経費の補助金：国庫補助4,077,000円・県費補助815,000円)

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない

	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	安全な通学手段確保のために、国や県からの長期的な補助を要望していく必要がある。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

● 小・中学校管理・運営事業

① 事業の目的・内容

児童生徒が安心・安全な教育活動を行うために、施設の保守・整備・修繕を行う。

② 事業の成果

ア 施設の修繕状況 (修繕料)

小学校 917,818 円

筒賀小学校 国旗掲揚ポール修繕料として上殿小掛け時計修理

加計小学校防火シャッターバッテリー取替修繕

中学校 1,144,950 円

安芸太田町立加計中学校昇降機修繕料として、

安芸太田中学校体育館トイレ給水バルブ取替等修繕

加計中学校職員室灯油ヒートポンプエアコン修繕

加計中前 カーブミラー支柱撤去

イ 管理、点検等業務委託 (委託料)

小学校 2,596,800 円

自家用電気工作物保安管理業務・消防設備点検

小学校施設清掃業務 (戸河内小)

加計小学校植栽整備等業務委託

中学校 1,565,270 円

自家用電気工作物保安管理業務・消防設備点検

◆評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				

外部評価	B	評価委員意見	予算が限られている中で厳しい現状もあるが、児童生徒の安心安全を確保するために施設整備に引き続き力を入れてほしい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

5. 教育振興費(小・中学校)

(1) 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業

- 遠距離通学費補助金 (令和2年4月～令和3年3月)

区分	学校名	対象者数[人]	補助額[円]
中学校	加計中学校	6	35,700
	安芸太田中学校	8	43,400
合計(a)		14	79,100

※自転車通学者も含む

① 事業の目的・内容

各学校が独自性のある学校づくり推進事業の展開が実施できるように活動費補助を行い、もみじプラン21を基本とした特色のある活動を推進した。

小学校費

学校名	金額[円]	事業テーマ
加計小学校	45,370	自ら学び 自ら考え 行動する児童の育成 (マーチングバンド合宿指導講師招聘、バンドフェス参加費用等)
筒賀小学校	86,675	ふるさとに学び、高い自己肯定感を持つ児童の育成 (歌唱指導、けん玉指導、ものづくり教室、食農活動等)
上殿小学校	108,120	魅力ある上殿小学校づくり(表現力の向上、心豊かな児童の育成) (米づくり、紙すき、山ゆり訪問諸経費等)
戸河内小学校	100,000	自信と安心をはぐくみ、意欲を持った子どもを育てる教育活動の創造 (絵本づくり、観光ガイド、地域交流活動費等)
合計(b)	340,165	

中学校費

学校名	金額[円]	事業テーマ
加計中学校	35,920	高い志を持ち、地域に貢献し、主体的に生きる生徒の育成 (マナー講座、キャリア教育、Nコン合唱指導謝金等)
安芸太田中学校	55,661	未来を創る人づくり 学びを生き方につなぐ教育の創造 (マナー講座、キャリア教育、地域活動等)
合計(c)	91,581	

② 事業の成果と課題

特色ある学校づくり補助金による外部講師の招聘や地域の方の協力により、各学校とも学校長の経営方針に基づいた特色ある学校づくりに取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の蔓延によ

り計画した事業が全て行えなかった学校もあった。

• その他補助金

① 事業の目的・内容

町内全小中学校が行う、合同修学旅行費用へ補助を行った。

また、平成29年度から行っている英語検定料補助を継続して実施し、全生徒に英語検定に挑戦する機会を設けた。

名 称		金額[円]	備 考
小学校	小学校修学旅行補助金 (山口方面)	215,530	@6,000×33人 ほか
小学校計(d)		215,530	
中学校	中学校修学旅行補助金 (広島県内)	626,273	@18,000×32人 ほか
	英語検定料補助金	227,300	加計中 54名分 安芸太田中 39名分
	第52回広島県中学校スキー選手権大会参加補助金 (安芸太田中)	1,200	大会参加者1名分
中学校計(e)		854,773	
小学校費補助金合計(b)+(d)		555,695	
中学校費補助金合計(a)+(c)+(e)		1,025,454	

② 事業の成果

町内全小中学校が、コロナ禍においても合同修学旅行をそれぞれ実施することができ、制限のある中、学校間の児童生徒の交流を深めることができ、団体行動による社会性の育成と同世代同士のコミュニケーション育成につながった。

英語検定料補助により、全生徒に英語検定に挑戦する機会を設けることができた。受験した 級を取得できた生徒は86.5% (前年度56.5%) で向上した。また、中学3年卒業時の英検3級取得率は50.0% (前年度50.5%) で、国の目標値50%に達することができた。

◆評価

事業の 評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備 考				
外部評価	B	評価委員意見	各校とも特色を生かした教育内容の創造に努力している。今後も必要などころへ適切な支援をお願いしたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(2) 小学校就学援助事業・中学校就学援助事業

① 事業の目的・内容

経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対して、国の制度に則り、学用品や給食費など必要な援助を行った。

② 事業の成果

援助が必要な児童生徒に対して、経済的負担を軽減することができた。

③ 歳出決算額

準要保護児童生徒就学援助費に係る支給状況 (令和2年4月～令和3年3月)

区分	対象者数			支給額 [円]			備考
	小	中	計	小学校	中学校	計	
学用品費等	42	21	63	537,607	476,822	1,014,429	
修学旅行費	11	8	19	129,382	172,576	301,958	
校外活動費	0	0	0	0	0	0	
新入学学用品費	4	5	9	40,000	97,400	137,400	
給食費	45	21	66	1,842,574	1,096,085	2,938,659	
医療費	6	0	6	50,977	0	50,977	
P T A 会費	31	19	50	75,600	60,800	136,400	
新入学用品入学前支給	3	8	11	151,800	459,200	611,000	
計(f)				2,827,940	2,362,883	5,190,823	

※就学援助対象者の割合 小学校19%、中学校22%

特別支援就学奨励費補助金に係る支給状況 (平成31年4月～令和2年3月)

区分	対象者数			支給額 [円]			備考
	小	中	計	小学校	中学校	計	
学用品費等	2	4	6	27,540	96,790	124,330	国庫補助額 小・中学校 119,000円
修学旅行費	0	1	1	0	21,572	21,572	
校外活動費等	0	3	3	0	4,770	4,770	
新入学学用品費	0	1	1	0	57,400	57,400	
給食費	2	4	6	94,500	218,772	313,272	
計(g)				122,040	399,304	521,344	
扶助費合計(f)+(g)				2,949,980	2,762,187	5,712,167	

◆評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない

外部評価	A	評価委員意見	就学援助事業が円滑に運営されているおかげで、児童生徒が安心して通学できていると考える。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(3) 「山・海・島」体験活動推進事業

① 事業の目的・内容

日常とは異なる環境での生活を体験し、児童の自立心や主体性などを育てるとともに体験先の地域の方々や他校の児童との交流を通して、コミュニケーション能力など人間関係を形成する力を育てることにより、児童の豊かな心を育成することを目的とし、5・6年生を対象に江田島での合宿を計画していたが、コロナ禍のため令和3年度に延期することとした。

② 事業の成果と課題

ア 成果

新型コロナウイルスの蔓延により実施できなかった。

イ 課題

今後は、本事業を行う中で育てたい児童の資質・能力を明確に位置づけるとともに、そのための活動の精査、振り返りの場の充実などを図る必要がある。次年度も、居住地である中山間地域とは違った自然環境における体験を行うため、江田島青少年の家での合宿とし、全小学校5年生による体験活動を計画する。

歳出決算額 0円

(4) 幼稚園管理事業

① 事業の目的・内容

乳幼児期は、小学校以降の教育の基盤となる力を育む大事な時期であり、幼稚園では、幼稚園教育要領に沿って適切な教育課程を計画し実施してきた。

② 事業の成果と課題

町唯一の幼稚園の令和2年度における園児数は5名のみであり、集団教育や年齢に応じた教育が行えないこと等、大きな課題であった。そのため、認定こども園や保育所との年齢別交流の継続実施や、ALTの週1回の訪問による英語あそびなどを積極的に実施し、小人数ではあるが工夫しながら想像力や表現力、思考力などを育てる取組みを行ってきた。しかしながら、当町における保育・教育施設のあり方の検討がなされ、幼稚園については、共働き世帯の増加による利用園児数の大幅な増加が見込めず、本来の幼稚園教育を果たすことが難しいとの判断により、令和2年度をもって廃園することとなった。

園児数及び教職員数 (令和2年5月1日現在、単位：人)

区分	戸河内
赤組(3歳児)	1

黄組(4歳児)	0
青組(5歳児)	4
園児数計	5
前年度園児数	5
前年度比較	0
園長	1
教諭	2
職員数計	3

※園長は、小学校長が兼務

③ 歳入歳出決算額

平成 23 年度から、若者定住施策の一環と少子化対策に資するための政策として、町内未就学児の保育料及び幼稚園授業料の減免を行っている。平成 25 年度より、満 18 歳未満の子を扶養する世帯の第 2 子以降無料となり、また平成元年 10 月から幼児教育の無償化により幼稚園授業料が無償となった。

歳出（負担金及び補助金）

区 分	金額[円]	備考
広島県国公立幼稚園連盟会費	8,250	
遠距離園児通園費補助金	21,600	
戸河内幼稚園閉園記念誌制作事業補助金	396,000	
合 計	425,850	

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input checked="" type="checkbox"/> 減少
	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）		
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	
<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	
<input type="checkbox"/> できていない			
備考	令和2年度末をもって廃園。		
外部評価	B	評価委員意見	小人数の中で最大限の工夫しながら教育活動が行われてきたと思われる。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

6. 保健体育費

(1) 加計共同調理場運営事業・筒賀共同調理場運営事業

① 事業の目的・内容

2つの学校給食共同調理場から、町内の幼稚園、小学校、中学校及び保育所、認定こども園へ、安心して安全な完全給食を提供する。

② 事業の成果と課題

新型コロナウイルスの感染防止対策として長期休校となり食材の調整が必要となった。職員の衛生面の指導を徹底しながら、産直市や農家と連携し地元の食材を積極的に給食に取り入れた豊かな献立作りを行っている。筒賀小学校の新しいランチルームへの配送手段として給食車でコンテナを2台配送することで防虫面でも安心に保管できている。

筒賀保育所の改修に伴い、老朽化した調理場の改修を行い、幼児の給食も安全に提供できる施設づくりに向けて改装中。その間はデリバリー給食（弁当）で対応することとなった。

加計学校給食共同調理場（令和2年5月1日現在、単位：人）

職 員	場長 1人、栄養士 1人、調理員 正規3人、臨時4人（2時間勤務1人）、運転手（臨時）4人 計13人		
学 校 給 食（職員数は臨時・非常勤含む）			
幼稚園	児童数	職員数	合 計
戸河内	5	2	7
小学校	児童数	職員数	合 計
戸河内	33	8	41
加 計	107	16	123
中学校	生徒数	職員数	合 計
加 計	55	15	70
保育所・認定こども園（職員数は臨時・非常勤含む）			
保育所	3歳児未満	3歳児以上	職員数
修 道	4	6	5
認定こども園	3歳児未満	3歳児以上	職員数
あさひ	13	39	16
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童数 145人 ・生徒数 55人 ・職員数 41人 <li style="text-align: right;">計 241人 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児未満 17人 ・3歳児以上 45人 ・職員数 21人 <li style="text-align: right;">計 83人 	

筒賀学校給食共同調理場

職 員	場長（兼任）1人、栄養士 1人（兼任：筒賀小学校栄養教諭） 調理員 正規2人、臨時2人（半日勤務1人）、運転手（臨時）1人 計7人		
学 校 給 食（職員は臨時・非常勤含む）			
小学校	児童数	職員数	合 計
筒 賀	46	10	56
上 殿	25	7	32
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童数 71人 ・生徒数 39人 ・職員数 31人 <li style="text-align: right;">計 141人 	

中学校	生徒数	職員数	合計
安芸太田	39	14	51

学校給食費徴収状況

	年度	調定額 [円]	収入額 [円]	収入未済額 [円]	未納数 (件)
現年度分	2年度	21,400,449	21,298,528	101,921	23
過年度分	27年度	9,800	0	9,800	2
	1年度	21,639	21,639	0	0
	計	31,439	21,639	9,800	2
合計		21,431,888	21,320,167	111,721	25

収納率 現年度分99.47% (対前年比0.06%増)

過年度分92.64% (対前年比0.32%減)

◆評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性 (事務効率化、コスト削減しているか)		
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	
<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	
<input type="checkbox"/> できていない			
備考			
外部評価	B	評価委員意見	児童生徒が安心して給食を食べることができており、引き続き衛生管理を徹底してもらいたい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

■ 生涯学習課

1. 社会教育費

(1) 社会教育総務管理事業

① 事業の目的・内容

社会教育の推進を図るため、各種団体への負担金・補助金を支払う。

社会教育関係負担金の内訳

名 称	金額[円]
広島県社会教育委員連絡協議会会費	24,000
けんみん文化祭ひろしま'20開催負担金	47,615
広島県公民館連合会負担金	76,900
広島県公民館大会参加負担金	0
合 計	148,515

社会教育関係補助金の内訳

名 称	金額[円]
安芸太田町女性連合会事業補助金	1,170,000
安芸太田町子ども会連合会事業補助金	250,000
安芸太田町PTA連合会事業補助金	150,000
青少年育成安芸太田町民会議事業補助金	640,000
安芸太田町文化団体連合会事業補助金	300,000
合 計	2,510,000

② 事業の成果と課題

各種団体への活動を支援することで、団体の活発な事業展開が図られた。ただし、団体ともに会員数が減少していることから、今後の団体の継続性について課題がある。

③ 歳出決算額 5,877,314円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
外部評価	B	評価委員意見	会員数が少なく会費収入が見込めない中で、団体の活動補助金は欠かせない。積極的な広報で住民への理解を図ってもらいたい。	

事業の方 向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 単年度で終了

(2) 社会教育施設管理事業

① 事業の目的・内容

社会教育施設の運営維持のため、以下の施設について保守・整備・修繕を行う。

施設名	金額[円]	備考
戸河内ふれあいセンター	9,755,756	賃金・需用費・委託料 ほか
筒賀公民館	369,099	光熱水費・通信運搬費 ほか
筒賀公民館東区分館	94,980	消耗品・電話料・施設管理委託料 ほか
温井文化センター	502,122	施設管理・浄化槽管理委託 ほか
香南文化センター	352,230	指定管理・建物共済

② 事業の成果と課題

施設の管理について、各施設とも老朽化による修繕の増加が今後とも予想される。ただし早急な大規模改修とはならないことから、不具合箇所を早期に発見し適切な補修を行なう。そして、指定管理制度導入についても検討する。

③ 歳出決算額 11,159,340円

(3) 文化財保護管理事業

① 事業の目的・内容

指定文化財を含め貴重な財産である文化財の保存維持を図る。

種 別	件 数
国指定	2
国登録	2
県指定	14
町指定	37

ア 文化財保護審議会（3月18日）

② 事業の成果と課題

近年、文化財に対する関心が高まっている。これまで、文化財の考え方は大きく二つに分けられた。単に文化財を限られた人々で守り、価値を損なうことなく後世に継承していく「保存」、そして地域においてより多くの人々に対して公開し、鑑賞してもらい、親しんでもらう「活用」である。これからは、文化財の本来的な価値の継承に配慮しつつ、地域ニーズに沿った形での積極的な「活用」が新たに組み込まれるとともに、課題にもなっていくと思われる。

③ 歳出決算額 459,734円

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）				

	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	町民の文化財への興味・関心を高めるために、広く公開したり積極的な情報発信の工夫をしたりすることが必要。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(4) 生涯学習推進事業

当事業の歳出決算額は1,931,378円である。以下に主要な項目について述べる。

- 地域生涯学習センター (小学校廃校地域対象)

① 事業の目的・内容

廃校となった小学校区を対象に地域生涯学習センターを開設した。

各地域の団体と連携し、講座や教室、スポーツ大会の開催、地域情報の提供等を実施し地域の活性化を促す。

② 事業の成果と課題

講座や教室、スポーツ大会の開催等で地域の活性化が図られた。

③ 事業額 255,600円

センター名	金額[円]	備考
二郷地域生涯学習センター	255,600	報酬
合計	255,600	

- 安芸太田町成人式

① 事業の目的・内容

新成人の門出を祝福するとともに、大人の仲間入りをしたことによる義務と責任を再確認してもらうための事業として実施している。

開催日時 令和3年1月10日(日) 13:00～

開催場所 川・森・文化・交流センター やまびこホール

対象者 平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれ

対象人数 男性 25人 女性 36人 計 61人

内容 式典、記念行事及び戸河内ウキスキー

記念品 「ウキスキーグラス(風炎窯)」

② 事業の成果と課題

平成29年度成人式でも実施し好評だった「未来へつなぐ“戸河内ウキスキー”」を今回も企画。現在、ほとんどの成人者が町を離れて暮らしている中、“戸河内ウキスキー”ができる8年後に、記念品のウキスキーグラスを持って再会するツールとし町への思いを

新たに作る、あるいは町へ何らかのかかわりを持つ機会になればと考えている。

だが、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、新成人や関係者の健康と安全を最優先し令和3年8月に延期した。

③ 事業額 519,857 円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	令和3年8月に延期			
外部評価	A	評価委員意見	対象者にとっても貴重な機会であり、コロナ禍であったが、延期実施は適切な判断であった。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

・公民館講座（そろばん教室）

① 事業の目的・内容

そろばん教室を通して、現代の子どもたちに低下しがちな集中力、忍耐力、積極性を養うことを目的に、隔月1回の検定試験を実施し、昇級目指して努力している。

日 時 毎週火曜日 午後6時から7時まで

講 師 社団法人 全国珠算教育連盟 広島県支部 栗栖 貞文 さん

場 所 川・森・文化・交流センター

受講生 15名

② 事業の成果と課題

毎月検定を行うことにより、よりレベルを上げて行くというチャレンジ精神が養われている。

③ 事業額

歳入（受講料） 219,000 円

歳出（講師謝礼） 245,000 円 @7,000 円/回×35回

・カルチャー教室

① 事業の目的・内容

都市部では様々なカルチャー講座が実施され、意欲のある人が参加している。しかし安芸太田町ではたとえ意欲がある人がいても、交通手段等の事情により受講することが難しい。そこで町が講師を招へいし、町民に対し安価で受講できるカルチャー講座を開講することにより、町民の文化に対する意識向上や生きがいづくり、日常の充実を図る。

② 事業の成果と課題

～太極拳～

回数 各期8回 木曜日 午前10時から11時30分まで

講師 NPO法人 日本太極拳協会広島県支部指導員 桂 喜子 さん

受講料 8,000円

	受講生	会場
第1期(8月～10月)	13名	戸河内ふれあいセンター
第2期(11月～3月)	15名	戸河内ふれあいセンター 川・森・文化・交流センター

～パソコン教室～

インターネットの利用促進とパソコンの活用による生きがいづくり等を目指す。

回数 1期3回

講師 ITコーディネーター 菅 孝司 さん

受講料 3,000円

	受講生	会場
第1期(9月)	9名	川・森・文化・交流センター

～スマートフォン教室～

インターネットの利用促進とスマートフォンの活用による生きがいづくり等を目指す。

回数 1期2回

講師 株式会社 Global-one さん外

受講料 2,000円

	内容	受講生	場所
第1期(11月)	インターネットの使い方	14名	川・森・文化・交流センター

新型コロナウイルス感染症拡大により講座数を減らして実施した。受講者数51人の受講があり、町民の生きがいづくり、日常の充実、町民の交流が図られた。

太極拳は女性を中心におおむね10名以上の受講があり、パソコン教室は幅広い年齢層の申込があった。また、スマートフォン教室開催の声が多く今年度、新たに取り入れたが、今後もネット活用による生きがいづくりを目指す。

③ 事業額

歳入(受講料) 275,000円

歳出(講師料・講師交通費) 859,900円

◆評価

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)				

	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、一部実施できなかった事業あり。			
外部評価	B	評価委員意見	参加者は少なくともニーズを掘り起こし、生きがいや社会貢献といった成果を発信しながら「いつでも・どこでも・誰でも」をめざして開催場所・回数を増やして欲しい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

• 芸術文化推進事業

① 事業の目的・内容

質の高い芸術文化に触れてもらうことにより、町民の芸術文化感覚を養う。

また、文化団体連合会の事務局を教育委員会に置き、町民の芸術文化活動を発表する場を設けることにより、町民の日々の生きがいづくりを支援する。

② 事業の成果と課題

全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、町文化団体連合会は活動を自粛。そのため、「第4回安芸太田町文化芸能フェスティバル」は中止した。

また、けんみん文化祭も軒並み中止となるなど、各種団体の活動も自粛・縮小となった。

高齢化等により加盟団体数も微減しており、各種団体の活性化を図ることが今後の課題である。

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、一部実施できなかった事業あり。			
外部評価	B	評価委員意見	これまで当たり前のように開催されていた発表会が中止にあり、改めて意義深い事業と感じた。町民が文化芸能へ触れる唯一の事業と思うので来年度の開催に期待する。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

• 人権関係

① 事業の目的・内容

ア 人権フェスタの開催

令和2年度は町・教育委員会の主催で開催した。各団体・機関が実施している人権イベントの連携と交流のネットワークを図り、お互いの活動を紹介し合い、情報を共有し、人的な

交流を深め合うことを大切にするため、平成20年度から実施している。

日時 令和2年12月19日(土) 13:30~15:20

場所 戸内ふれあいセンター メイプルホール

・講演会 講師：久保田 夏菜さん(フリーアナウンサー)

演題：「これがわたしの使命だから」

・人権展：町内小学6年生の人権標語展示

(人権標語は町内小・中・高等学校、町内企業等所で展示)

② 事業の成果と課題

人権週間・障害者週間と合わせ、令和2年度で13回目となる「人権フェスタ」を開催した。全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、人権フェスタ関連事業は取りやめとなった。

③ 事業額 163,244円

◆評価

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
外部評価	B	評価委員意見	私たち一人一人が人権尊重の重要性を改めて認識する機会としてより充実させてほしい	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

・子ども会活動

① 事業の目的・内容

連合会の事務局を教育委員会内に置き、町子ども会連合会としての主催活動を展開し、情報の交換・共有を図る。

② 事業の成果と課題

様々な事業を行う中で地域の子ども会活動を支援し、子どもたちに楽しむ場を提供した。

子どもの減少により、子ども会を組織できなくなる地域が増えているが、町子ども会連合会を受け皿にして、町子ども会連合会主催活動には全ての子どもが参加できる体制をとっている。ただし、全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、上関町子ども会育成連絡協議会との「漁村交流会」、「親子クリーンハイキング」は中止した。

ア 安芸太田町子ども会連合会活動の促進・支援

総会 年1回開催(書面決議)

役員会 年5回開催（中止）

イ 山村交流会

趣旨 海沿いに面する地域に住む町外の子どもたち（山口県熊毛郡上関町）との交流を図るとともに、お互いの子ども会活動の情報を交換しあう中で、更なる活動の活性化を進める。

主催 安芸太田町子ども会連合会

※全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け中止。

ウ 親子クリーンハイキング

趣旨 親子でハイキングをすることにより親子の絆を深めるとともに、ハイキングの際、ゴミを拾うなど美化活動を行なうことにより環境保全の意識、ボランティア精神の向上を高める。

主催 安芸太田町子ども会連合会

※全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け中止。

• PTA活動

① 事業の目的・内容

安芸太田町 PTA 連合会（以下町P連とする）の事務局を教育委員会内に置き、町P連としての主催活動を促進し情報交換・共有を図るとともに、各学校単位 PTA（以下「単P」とする）の活動を支援する。

② 事業の成果と課題

単Pの支援及び町P連会議を行うことにより、単P間の情報の共有ができ PTA 全体としての意向の方向付けができた。ただし、全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、県P連事業や町P主催事業「四季の教室」は中止となった。

ア 総会年1回開催（5月7日）

理事会 年2回開催（全て中止）

県PTA全小・中学校PTA会長研修会参加

県PTA研究大会参加

日本PTA中国ブロック研究大会参加

全小・中学校母親代表研修会

• 青少年育成町民会議活動

① 事業の目的・内容

町民会議の事務局を教育委員会内に置き、町民会議として主催活動を促進するとともに、情報交換・共有を図る。

② 事業の成果と課題

各種事業を行うことにより関係団体間の連携・情報交換ができ、地域全体で青少年を育んで行くという大きなつながりができた。

ア 青少年育成安芸太田町民会議活動の促進・支援

総会

年1回開催（6月3日）

イ 立志式

趣旨 成長過程にある安芸太田町内中学校2年生を激励するとともに、生徒自らが自立心をもって生きることを促し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成を図る。

主催 青少年育成安芸太田町民会議

※全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、令和3年度へ延期。

ウ 第12回あきおたゲームハイキング

趣旨 町内の自然・文化・歴史を訪ね、地域の方から話を聴き、地域を知るとともに、郷土に誇りを持ち郷土を愛する心を育む。また、多くの仲間との交流を通じて、協力することの大切さを学ぶとともに、友情の和を広げ世代の枠を超えた交流の中で、お互いを理解しあう。

主催 青少年育成安芸太田町民会議

※全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け中止。

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、一部実施できなかった事業あり。			
外部評価	B	評価委員意見	町内の子供たちだけを対象として考えるのではなく、他地域とのコラボレーションにより、多くの子供や保護者が人間関係を作ったり、交流したりできる場や機会を作ってほしい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(5) 図書館運営事業

① 事業の目的・内容

- ・図書館協議会開催

日時 令和2年2月20日(木)

議題 令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について

- ・図書購入状況

	区分	2年度購入	金額 [円]	備考 (寄贈含む)
本館	蔵書	668冊	1,061,171	総冊数 45,372冊
	雑誌	19種類	138,623	総冊数 584冊
筒賀分室	蔵書	150冊	212,254	総冊数 9,779冊

	雑誌	4種類	27,623	総冊数 301冊
戸河内分室	蔵書	207冊	303,882	総冊数 14,327冊
	雑誌	9種類	79,695	総冊数 400冊
大型絵本・紙芝居		7点	10,010	蔵書登録
視聴覚		0点	0	総数 839点

・図書館利用状況

ア 開館日数〔本館〕272日、〔筒賀分室〕262日、〔戸河内分室〕265日

イ 貸出し冊数

区分		本館	筒賀分室	戸河内分室	移動図書館
貸出し冊数	一般書	8,243冊	1,592冊	2,759冊	705冊
	児童書	11,911冊	2,290冊	3,043冊	1,286冊
	雑誌	755冊	51冊	424冊	7冊
	視聴覚	1,371点	66点	168点	0点
	その他(外国語図書)	21冊	0冊	0冊	0冊
	計	22,301冊	3,999冊	6,394冊	1,998冊

※利用者数(3館合計) 5,977名

ウ 移動図書館やまびこ号

- ・月1回 火・水・木・金曜日に町内22箇所を巡回
- ・利用状況 利用者数 219人

エ 令和元年度に引き続き司書2名体制で巡回活動を行った。

- ・小学校4校での絵本の読み聞かせ、図書委員会活動支援など
- ・幼稚園・保育園・児童センター5か所 絵本の読み聞かせ
- ・読書会の定着

② 事業の成果と課題

図書館での読書環境改善や、図書館利用の促進と子どもの読書を推進する取り組みとして、図書館外へ本を送り出す「移動図書館やまびこ号運行」や「司書による巡回活動」、「県立図書互助・教弘文庫」、「おひさま文庫(旧学校図書)」活動を定例行事等と合わせて展開し、多くの本に出会う機会と情報を提供することで利用増加を図ったが、全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け事業によっては縮小・中止となった。

だが、移動図書館を除く貸出冊数を昨年と比べると、本館940冊減、筒賀分室546冊増、戸河内分室74冊と貸出冊数が増加した施設もある。新型コロナウイルス感染症対策として不要不急の外出自粛などが求められ、図書館へ来館することを控える人も多い中、ステイホームといった新しい生活様式の実践で読書時間が増えたことが考えられる。

今後はポストコロナの時代に対応した図書館サービスを考えていくことが課題となる。

③ 歳出決算額 19,610,187円

◆評価

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)				

	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、一部実施できなかった事業あり。			
外部評価	B	評価委員意見	子供の読書離れを解消するためにも、今後も本に親しむ環境づくりを引き続き進めてほしい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(6) 放課後子ども教室推進事業

① 事業の目的・内容

放課後や長期休業日に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設ける。

地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

だが、新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、小中学校一斉休校時には通常とは異なる運営となったり、毎年実施している地域交流等が中止となった。

区 分		事業の実績内容	
1	子ども教室名	戸河内小学校放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	戸河内小学校区	
3	実施場所	安芸太田町立戸河内小学校	
4	実施日数	年間： 249日	平日 189日
			土曜日及び長期休 60日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	人数： 14人
区 分		事業の実績内容	
1	子ども教室名	修道放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	旧修道小学校区	
3	実施場所	修道活性化センター	
4	実施日数	年間： 251日	平日 188日
			土曜日及び長期休 53日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	人数： 9人

② 事業の成果と課題

令和2年度は町内2箇所で開催した。勉強やスポーツ・文化活動や長期休業日期間には地域住民との交流活動を行い、子どもたちの安全・安心な活動拠点づくりが図られた。

土曜日開校は、戸河内小放課後子ども教室だけとしていたが、修道放課後子ども教室利用保護者より土曜日開校について要望があり9月から3月までの期間は試行的に月2回ほど土曜日を開校した。令和3年度以降は本格的に開校していくことで調整。

補助事業	補助事業対象経費総額	補助金額 (2/3)
放課後子ども教室推進事業	2,967,004 円	1,977,000 円

③ 歳出決算額 4,404,961 円

◆評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、一部実施できなかった事業あり。			
外部評価	B	評価委員意見	コロナ感染対策で、地域との交流が難しいと思われるが、学校とは違う視点で、ICTなど活用しながら地域の方と子供たちをつないでもらいたい。国や県の本来の趣旨を生かすためコーディネーターの役割は重要である。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

2. 保健体育総務費

(1) 保健体育総務管理事業

① 事業の目的・内容

ア スポーツ推進委員報酬 13人 442,000円

会議 (11月30日)

イ 中国地区スポーツ推進委員研修会

ウ 令和2年度広島県スポーツ推進委員研究大会兼芸北地区スポーツ推進委員研修会

エ 第61回 全国スポーツ推進委員研究協議会

オ 広島県女性スポーツ推進委員研修会

カ 安芸太田町体育協会総会 (書面決議)

キ メキシコオリンピックチーム事前合宿受入・交流事業

ク 全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

※上記イ〜ク、全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け中止。

② 事業の成果と課題

スポーツ推進委員に対し、スキルアップ及び情報共有を図るため、積極的に研修会に参加できるように調整する。

「全国高校ライフル射撃大会」及び「メキシコオリンピックチーム事前合宿受入・交流事業」は残念ながら中止となった。様々なスポーツを通じて、地域や住民が生きがいや生涯スポーツに取り組めるようなメニューができるよう関係機関と図っていきたい。

③ 歳出決算額 2,160,300円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、一部実施できなかった事業あり。				
外部評価	B	評価委員意見	イベントを含めて、子供たちがスポーツに親しみ、楽しめる環境づくりを進めてもらいたい。その中から好きで続けていこうとする大人が増えていくとよい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(2) 体育施設管理事業

① 事業の目的・内容

町内の体育施設の維持管理、修繕等を行う。

② 事業の成果と課題

近年すべての体育施設は老朽化しており、年々修繕費等の経費が増大している。

③ 歳出決算額 52,965,825 円

歳出の内訳

施設	設置場所	支出額[円]	備考
体育施設	加計体育館	7,583,107	指定管理委託料 電気、上下水道、燃料等
	修道活性化センター	2,126,111	管理委託料 保守点検・維持管理等
	津浪体育館 (津浪スポーツ広場も含む)	235,435	AEDレンタル 管理委託料、水道等
スポーツ広場	見入ヶ崎スポーツ広場	70,598	管理委託料、水道等
	温井スポーツ広場	98,840	管理委託料、電気代
	松原スポーツ広場	30,000	管理委託料
	至誠スポーツ広場	11,243	電気代
	筒賀ふれあいスポーツ広場	238,914	電気・水道代、管理委託料等
	筒賀多目的スポーツ広場	182,681	電気代等
	修道スポーツ広場	51,276	電気代、管理委託料等
坂根スポーツ広場	1,034,254	管理委託料、保守点検、修繕等	

	殿賀スポーツ広場	143,701	管理委託料、電気代等
	杉の泊スポーツ広場	30,000	管理委託料
	筒賀ゲートボール場	2,961	電気代
学校体育施設	加計小学校体育館	93,662	管理委託料、夜間照明
	筒賀小学校	153,592	夜間照明
	上殿小学校	31,740	夜間照明
	加計中学校	120,452	夜間照明
その他	旧戸河内中学校	109,884	夜間照明
	向光石広場	30,000	管理委託料
町内プール	加計・戸河内・筒賀・坂原・井仁・松原・猪山・上殿・寺領・平見谷・修道・津浪	40,587,374	賃金、管理委託料、保守点検・維持管理・水質検査、AEDレンタル、工事請負費等
合 計		52,965,825	

ア 加計体育館利用状況

年間利用状況

利用日数[日]	利用件数[件]	利用者延べ人数[人]
263	453	6,234

種目別利用状況

種 目	利用団体 [団体]	利用件数 [件]	利用者延べ人数 [人]	利用料金 [円]
バレーボール	16	167	1,884	141,020
ビーチボールバレー	1	61	762	54,340
バドミントン	9	70	534	95,700
卓球	5	54	751	33,540
テニス	2	32	286	990
フットサル	3	24	364	72,189
バスケットボール	1	1	9	1,000
その他	7	44	1,644	271,095
合 計	44	453	6,234	669,874

イ 戸河内ふれあいセンター利用状況

年間利用状況

メイプルホール			アリーナ		
利用日数 [日]	利用件数 [件]	利用者延べ人 数[人]	利用日数 [日]	利用件数 [件]	利用者延べ人 数[人]
19	20	696	161	274	2,875

種目別利用状況

種 目	利用団体 [団体]	利用件数 [件]	利用者延べ人数 [人]	利用料金 [円]
バレーボール	4	10	153	34,000
ビーチボールバレー	1	24	155	10,750
ソフトバレーボール	1	38	251	19,000
バドミントン	6	30	334	135,440
卓 球	3	45	420	19,250
剣 道	1	69	313	0
その他	19	58	1,249	14,830
小 計	35	274	2,875	233,270
メイプルホール	13	20	696	91,750
(冷暖房)				18,180
楽屋	11	17	114	4,380
(冷暖房)				0
ピアノ、音響等				11,980
ロビー	2	2	6	0
小 計	26	39	816	126,290
合 計	61	313	3,691	359,560

(3) 社会体育振興事業

① 事業の目的・内容

ア 第9回安芸太田町民グラウンド・ゴルフ大会

… 中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点による)

イ 第23回近郡親善ゲートボール大会

… 中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点による)

② 事業の成果と課題

新型コロナ感染症拡大により、事業中止とせざるを得なかったが今後も住民ニーズを把握しながら、スポーツ振興に資する住民の活動を支援する必要がある。

③ 歳出決算額 162,030 円

◆評価

事業の 評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備 考	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、一部実施できなかった事業あり。				

外部評価	B	評価委員意見	コロナ感染対策として、イベントの中止はやむを得ない。スポーツ振興を進める上で町民のニーズ把握は大切だと思う。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		